



STANDARD

2025年9月25日

各 位

会 社 名 北 川 精 機 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 内 田 雅 敏
(コード：6327、東証スタンダード)
問合せ先 執行役員財務部長 西田圭司
(TEL：0847-40-1200)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025年9月25日開催の取締役会において、持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るべく、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について現状分析を行い、改善に向けた今後の取り組みを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

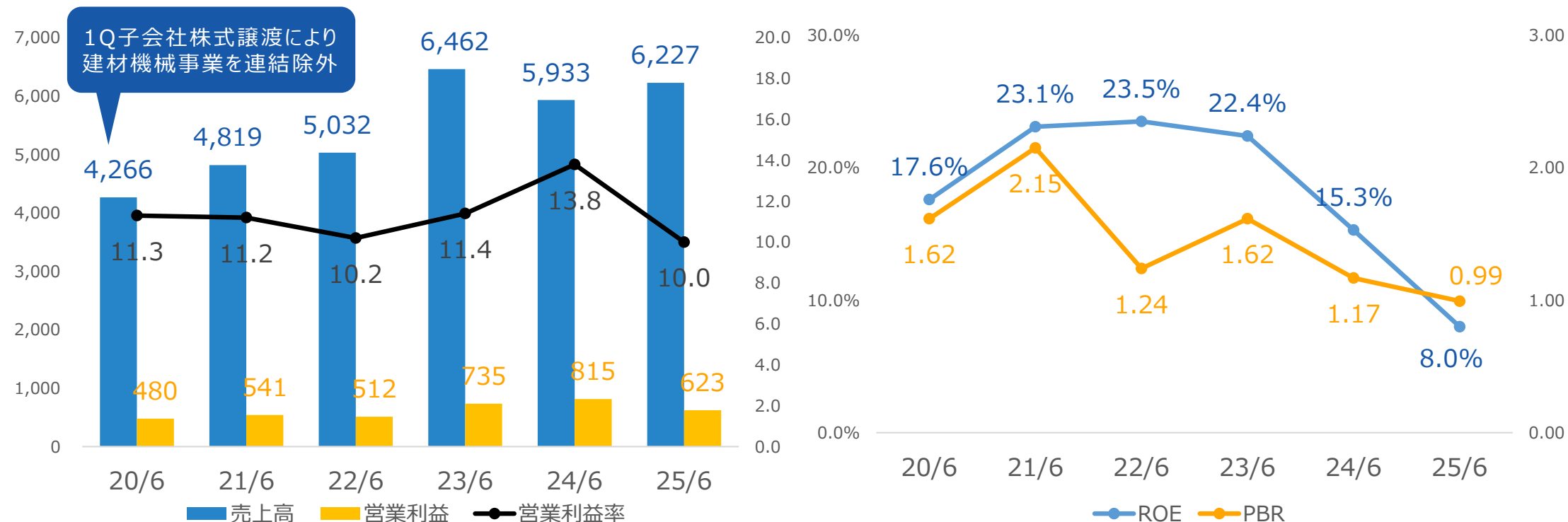
以 上

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

現状認識

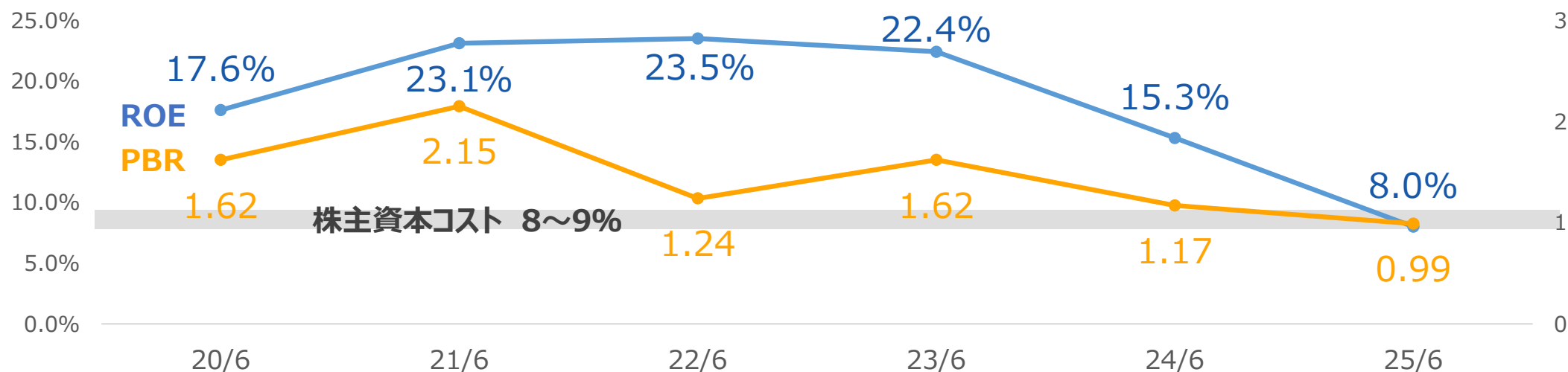
- CAPMを用いた当社の株主資本コストは概ね8～9%と認識しております。
- 将来に向けた成長投資のため、24年1月に増資を実施したことにより、24/6、25/6期時点ではROEが一時的に低下しており、投資の成果が現時点ではまだ利益には反映できていない状況です。現在、2030年を最終年度とした中期経営計画を策定しており、この計画を着実に実行することで、2030年にはROE12%の目標を達成してまいります。
- PBRは、現状0.9～1.1倍程度であり、さらなる企業価値向上を実現していくためには、中長期の成長戦略の着実な実行と成長期待の醸成が重要と認識しております。



現状分析 資本収益性（ROE）と株主資本コスト

- 株主資本コストは8～9%程度と認識しており、20/6から24/6までROEは株主資本コストを上回る水準で推移していましたが、24年1月に実施した成長投資のための増資により、24/6、25/6期時点では一時的にROEが低下しております。今後、中期経営計画「KITAGAWA2030」の施策を着実に実行することで、2030年 ROE12%の目標を達成してまいります。
- 個別受注生産で顧客・製品ごとに仕様・収益性が異なるため、期ごとに利益率が変動します。

ROEの推移と株主資本コスト



CAPM(資本資産価格モデル)による株主資本コストの算出

リスク
フリーレート

1.6%

※10年国債利回り

+

β値（感応度）

1.1～1.2

※当社の市場感応度
対TOPIX(配当込)

×

エクイティ
リスクプレミアム

6.1%

※過去の株式市場
リターンを採用

=

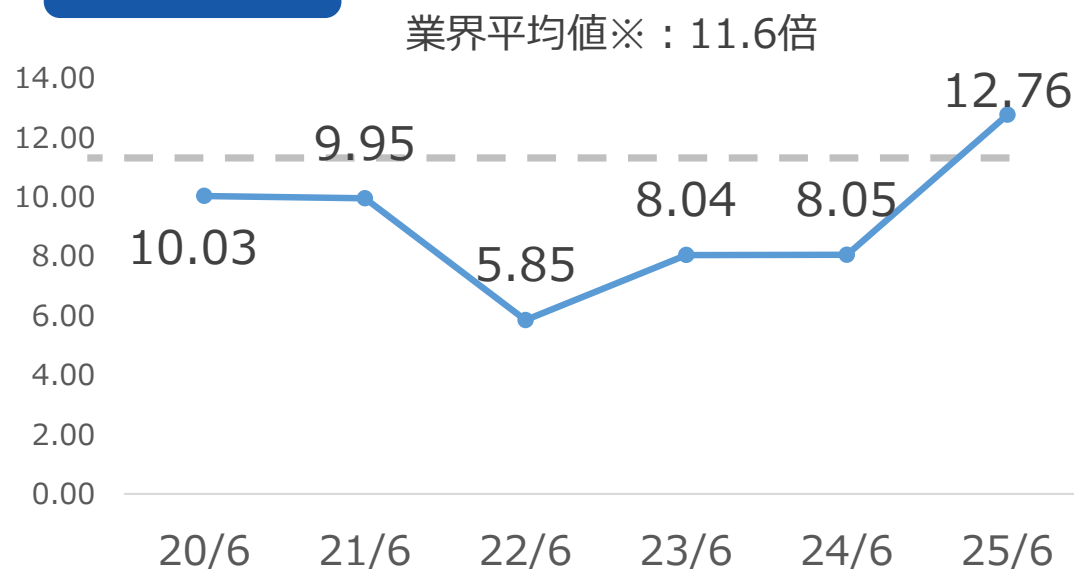
株主資本コスト

8～9%

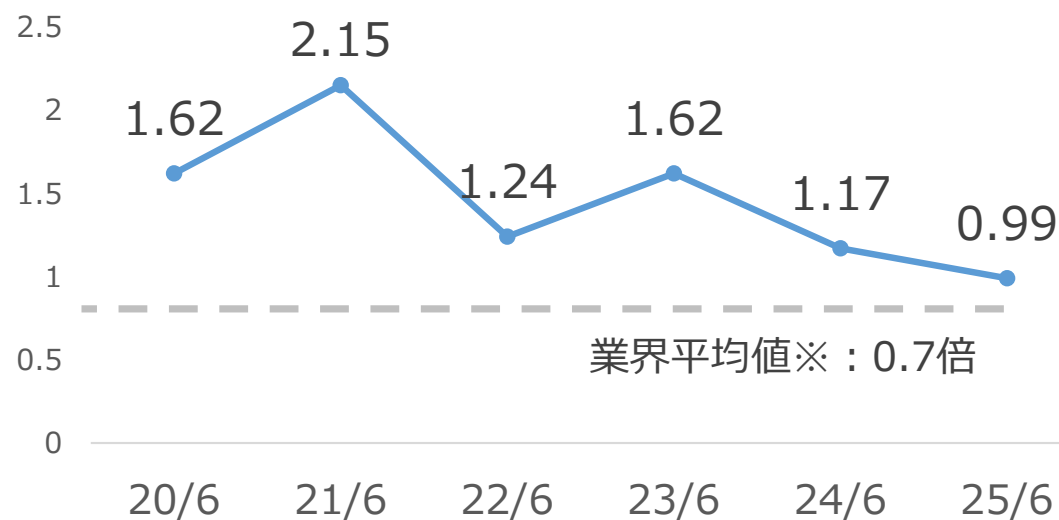
現状分析 市場評価（PER：株価収益率、PBR：株価純資産倍率）

- PERは21/6以降上昇傾向にあるが、スタンダード市場 製造業(機械)平均11.6倍に対し直近は12.76倍となったが、前年までは5～10倍と業界平均を下回っており、成長戦略を十分に発信できていないと認識しております。また流動性が低く価格形成が難しいこと、BtoBの業界にあって認知度が低いことも要因として認識しております。
- PBRは、スタンダード市場 製造業(機械)平均0.7倍に対し現状0.9～2.0倍程度で推移しております。ROE(収益率)とPER（株価収益率＝成長期待）の積であるため、収益率の改善と成長期待の醸成によりPBRの向上を図ってまいります。

PERの推移



PBRの推移



※PER、PBRの業界平均値は：JPXデータ スタンダード市場製造業(機械)より引用 2025年6月末時点

目 標

2030年の目指す姿 「世界のDXを支える唯一無二の企業」

2025/6 実績			
売	上	高	6,227
営	業	利	益 623
売上高営業利益率			10.0%
R	O	E	8.0%

KITAGAWA 2030 2027/6 目処値			
売	上	高	7,500
営	業	利	益 900
売上高営業利益率			12%以上
R	O	E	10%以上

KITAGAWA 2030 2030/6 目標			
売	上	高	10,000
営	業	利	益 1,500
売上高営業利益率			15%以上
R	O	E	12%以上

- ・配当性向25%以上を目標とし株主還元の充実を図る

株主資本コストの低下、PER向上に向けた今後の取り組み

- ・中期経営計画の各施策の実施と進捗状況の発信
- ・財務健全性を維持した成長への戦略的投資、ならびに安定配当方針に基づく株主還元の実施
- ・成長戦略に関する開示の充実など、市場との対話機会の更なる拡充

中期経営計画「KITAGAWA 2030（2025/6～2030/6）」における企業価値向上に向けた取り組み

2025

2027

2030

Phase1(2025/6-2027/6)
「播種・育成」期間

Phase2(2028/6-2030/6)
「育成・収穫」期間

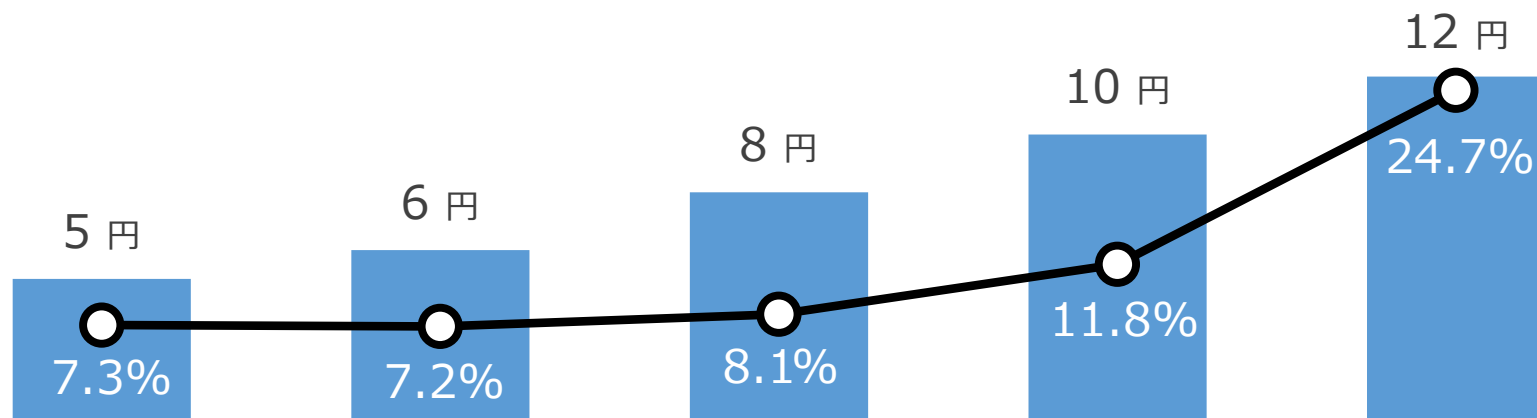
前半3年(2025年6月期～27年6月期)を「播種・育成」期間とし、重点課題に取り組む

	重点課題	取り組み状況
1	売上高100億に向けた成長戦略の遂行 - 成長市場における新製品の早期投入と収益化 - 既存の技術・製品の周辺分野への積極展開 - 顧客・市場動向に即した国内外の販売戦略再構築	- 成長市場参入を目的とした新製品開発進行中 - PCB業界で海外新規案件獲得 - レーザー加工機メーカーとの連携によるシステムストックカー拡販が好調 ⇒ 受注残前年比 356百万円(103%)増
2	生産能力拡大と生産効率改善の両立 - 受注拡大に応じた自社生産能力の拡大 - 製品の種類・サイズに合わせた外注先の確保・拡充 - 生産工程のデジタル化・自動化の推進	- 生産工程の自動化システム構築中(2027年稼働予定) - 国内外で部品製作協力先を拡充 - AIデータプラットフォーム導入 ⇒ 業務効率化、部品標準化、脱属人化を推進
3	既存技術の深化と製品・サービスの品質向上 - 設計2拠点体制による技術開発力強化 - 設計・製造の標準化による製品品質の安定化 - アフターサービス充実による顧客満足度向上	2024/11/1長崎技術センターオープン ⇒ 新卒・キャリア採用ともに好調で優秀な地元人材獲得 ⇒ 2027年に20人体制を目指す
4	技術力を支える人的資本経営の推進 - 従業員エンゲージメント向上施策の実行 - 安全衛生管理の徹底による職場環境改善 - 管理業務のデジタル化による業務効率化の推進	2年連続ベースアップ実施 - 業務効率化ツールを導入、社内開発者の育成実施中 ⇒ 管理業務の自動化による繁忙期の負担軽減、脱属人化を図る

中期経営計画「KITAGAWA 2030（2025/6～2030/6）」における株主還元（配当）方針

- ・成長投資と安定的な配当の維持を基本方針
- ・中期経営計画「KITAGAWA 2030」において配当性向25%以上を目標とし株主還元の充実を図る

株主還元の推移



(単位：百万円)	21/6	22/6	23/6	24/6	25/6
売上高	4,819	5,032	6,462	5,933	6,227
営業利益（率）	541(11.2%)	512(10.2%)	735(11.4%)	815(13.8%)	623(10.0%)
当期純利益	492	588	702	632	394
一株あたり純利益	68.22円	83.28円	99.19円	85.05円	48.51円
ROE	23.1%	23.5%	22.4%	15.3%	8.0%
自己資本比率	38.1%	31.4%	39.2%	56.5%	59.1%
期末株価	679円	487円	797円	685円	619円
発行株式数	7,649,600株 (自己株 594,889株)	7,649,600株 (自己株 586,289株)	7,649,600株 (自己株 551,089株)	8,449,600株 (自己株 331,912株)	8,449,600株 (自己株 305,212株)

中期経営計画「KITAGAWA 2030（2025/6～2030/6）」における キャッシュアロケーション

- ・成長投資として2024年に新株発行により調達した資金などで新製品開発と自動化設備導入
- ・配当性向25%以上を目標とし株主還元の充実を図る

